

和歌山県立

日高高等学校

SGH ネットワーク 通信

第13号

2024年2月21日

令和5年度

探究学習成果発表会 分科会

1月23日、「総合的な探究の時間」における探究活動の成果発表会(分科会)を開催しました。総探では、日高高校2年生が4つの分野(分化・産業・防災・国際)をテーマに探究活動を行い、各班、工夫を凝らしたポスターを用いて発表を行った。また、分科会では、外部から指導助言の先生方をお招きし、発表内容の講評をしていただいた。生徒たちにとって2月に行われる全体会に向けてさらに良い発表にしていこうと気持ちを新たにする貴重な機会となりました。



分科会を通じて、、、

2年1組 梅田 咲羽

はじめは「宿泊業」というアバウトな内容でしたが、調べていくにつれ、ホテルと地元とのつながりや、SDGs との関わりなど、どんどん視野が広がっていった。一度調べ始めると熱が入り、総探の時間だけでなく、様々な資料を見比べたりした。その点に関して、課題に取り組む意欲や積極性が身についたと思う。また、疑問を行動に移し、その先をイメージして新たな疑問を見つけ解決することもできたと思う。

2年3組 林 心音

これまでは、友達に任せっきりになっていたが、今回の発表では、きちんと割り振りを決め、自分が担当するところの原稿をしっかりと自分で考えられたところが良かったと思う。自分で考えて行動することは当たり前で大切なことだけど、その当たり前を今までできていなかったもので、できるようになったことが良かったと思う。実際、自分の考えた原稿に間違いがあり、大学の先生にアドバイスをいただいた時に、「原稿をもっと良いものにしたい。」と思えたことも、この課題に取り組む意欲や積極性が向上したと思う。

2年5組 嶋田 倫也

中学、高校で人前に出て発表をする機会があるとき、自分は人に任せて横で聞くことの方が多かったので、今回、総探の発表で人に研究したことを伝える難しさを知った。研究テーマも難しく、特に工夫する必要があった。聞く側の人には初めて聞く内容なので、難しい専門用語をわかりやすい言葉に言い換えることが難しかった。一番難しかったのは質問されたことに答えること。全く予想していなかったことを聞かれたとき、その場で考えてアンサーするというのは、相手の伝えたいことを理解し、自分の意思を適切に伝える力につながったと思う。

2年5組 柳木 初音

私は、総探の授業である1つの課題について班で協力して考えていく中で、自分の考えたことをはっきりと口に出すという積極性を身につけた。また、班の中でポスターを作る係と、発表原稿を作る係などの役割分担をしつつ、分からない所は助け合い、絆を深めることができた。そうすることで、限られた時間を有効的に使い、物事を進めていくことの大切さを再確認できた。また、実際にプレゼンテーションをする時には、どうしたら見やすいポスターになるか、話すスピードはどれくらいがいいかなどを考えて、私たちなりに分かりやすいプレゼンテーションを作ることができたと思う。